



2022.9.25 No.43

発行 泊原発の廃炉をめざす会

〒060-0808
札幌市北区北8条西6丁目2-23-806
TEL 011-594-8454
FAX 011-594-8455
URL <https://tomari816.com>
E-mail info@tomari816.com
郵便振替口座 02790-1-100850

2021年度活動報告会

8月20日、2021年度活動報告会があり29人が参加した。まず市川守弘共同代表が開会の挨拶に立ち、「判決では廃炉までは認められなかったが、泊原発の差し止めは廃炉への一歩となる。今後は弁護団と廃炉の会会員が自由に討議し考える場としていきたい」と述べた。

コロナ禍で活動が制限

次に間谷事務局長から会計決算報告があった。1月18日の結審以降、マスコミで取り上げられたこともあり寄付金が予算から70万円アップしたこと、



コロナ禍で思ったようにイベント等が出来なかったため、支出が抑えられ、次期繰越金が300万円を超えたことが報告された。

在田会計監査役からは「預金通帳、現金出納帳、元帳などの書類は合致しており、適切に会計処理されている」との報告があった。

控訴理由書を提出

2022年度活動方針案では、控訴理由書の提出状況とその概要について、菅澤弁護団事務局長が以下のとおり報告した。敗訴した原告のうち570人が控訴した控訴事件について、8月3日に控訴理由書を提出した。30km圏の1審勝訴原告44人は控訴せず、被控訴人となったところ、北電の控訴理由書をまだ受領しておらず、内容はわからない。裁判の日程も決まっていない。当方の提出した控訴理由書の概要としては、まずNHKのドキュメント番組が書籍化された「原発事故最悪のシナリオ」を証拠として提出し、それに基づく主張をした。この本では、福島原発事故発生当時、未曾有の危機に直面しながらその対応に当たって

いた政府、自衛隊、米軍などが東日本壊滅を想定していた状況が当事者の言葉で生々しく語られており、近藤俊介氏作成の「本件シナリオ」が単なる可能性ではなく現実的な250km圏内の危険性を指摘したものであることが裏付けられている。その他、現実には避難が必要となった飯館村が30km圏外であること、250〜300km離れた神奈川県内のホットスポットを調査報告している学術論文など、30km圏内に具体的危険性を限定した地裁判決は誤りだということを示す証拠を提出し、それに基づく主張をした。250km圏外の危険性については新たな証拠はなく、チェルノブイリ原発事故において1,800kmまで国の対応が必要となったことを改めて主張した。

また一審判決までに10年がかかっており、控訴審の判決までいつまでかかるか予想できないが、弁護団の方針として、被控訴事件については早期の終結を求めている。控訴事件については広く各論点について扱っていくと説明した。

出前講座をスタート

次に市川共同代表から廃炉の会の活動方針（案）が報告され、泊原発の再稼働を認めない署名活動と核ゴミ問題で寿都、

(2ページに続く)



間谷 真澄 新共同代表



菅澤 紀生 弁護団事務局長



市川 守弘 共同代表



難波 徹基 新弁護団長

神恵内の概要調査への移行拒否を求める署名活動を行うこと。また市川弁護士による出前講座（地裁判決を広める）を始めるなどの方針案が提出された。

予算案については、2021年度は思うような活動ができなかったことから、支出がかなり抑えられたが、新年度予算（案）はコロナ禍の前の予算案を踏襲したと報告された。

共同代表・世話人が追加

役員体制案では、いままで一人だった共同代表に十勝連絡会から中村廣治さん、事務局から間谷真澄さんの2名が追加。世話人も事務局から廣谷淳一さん、会計から大倉賢一さん、事務局総務から村本深雪さんが追加、承認された。これに伴い廣谷さんが新事務局長となった。

以上2021年度活動報告会での決議事項はすべて原案通り承認された。

原告団というより訴訟団

その後、地域連絡会からの活動報告、参加者からの発言や質疑応答があり、特に廃炉訴訟における原告団という呼称の質問では「元来廃炉の会の会員の中から原告を募った経緯があり、厳密に言えば原告団と言う概念はなく、賛同人、原告を含めて訴訟団を構成しているイメージであり、全国の集団訴訟でも特異である」との説明が市川共

同代表からあった。

最後に難波徹基新弁護士長から「裁判だけでは変わらないことがある。裁判の活動とは違った廃炉の会としての活動や仲間を増やすことなど、今後の良い報告ができるよう頑張ってください」と挨拶があり、参加者の拍手で報告会は締め括られた。



三浦 育夫 釧路連絡会役員



中川 洋子 廃炉の会
そらち 幹事長



中村 廣治 十勝連絡会代表
兼新共同代表

【ほろのべ核のゴミを考える全国交流会

— 寿都・神恵内で「概要調査」をさせないために」参加報告

3年ぶりの全国集会

8月20日、21日にかけて、豊富町で全国交流会が開かれました。主催は核廃棄物誘致に反対する道北連絡協議会です。この交流会は2008年から毎年開かれていましたが、一昨年と去年はコロナのため豊富町に集うことができませんでした。久しぶりの開催に全国から50名が参加。寿都町からは4名参加、樋谷和幸さんが寿都からの報告をされました。

長くほろのべ問題に取り組み、この全国交流会はもとより年に何度も道北を訪れてきた生活クラブ生協、はかる・さつぼろのメンバー、北海道平和運動フォーラム、そして原子力資料情報室（東京）からも参加。私は連絡会を取り組んでいる核ゴミの処分場建設に向けた調査を止めるための知事宛て署名用紙を配布し、署名拡散とオンライン署名拡散への協力をお願いしてきました。

核ゴミを拒否し続ける

みなさんご存じのとおり、道北では40年にわたり核ゴミ拒否の運動が継続されてきました。



→寿都町の樋谷さんが着ているのは、本庄敬さんのイラスト「寿都・シヤツ」

1990年には道北はじめ全道での核ゴミ拒否のうねりの中で、高レベル放射性廃棄物の施設建設が白紙に戻されます。しかし、その後、処分施設とは切り離すとして2001年に深地層研究センターが設置されてしまいます。多くの道民が深地層研究センターが処分場に繋がる火種になると反対しましたが、結果としてとどめることはできませんでした。

国策の核ゴミ処分場を止めた。そのおかげで現在まで北海道は核のゴミ捨て場にならずにすんできました。私としては感謝しかありません。しかしあの時火種を断ち切ることができていれば、寿都・神恵内で調査が行われることもなかったのではないかと、そのように道北の方々が感じているように、私には思えました。その真摯さ、厳しさには頭を垂れるしかありません。

道北と寿都・神恵内は繋がっている

深地層研究センターでの最終期限をはっきり決めないままの研究期間延長、核ゴミの処分事業主体であるNUMOの深地層研究センター地下施設での国際共同研究参加など、今、道と原子力機構との約束が反故にされつつあります。それは、寿都・神恵内での動きに密接に繋がっている。そのことを深く理解しなければならぬと思いました。

泊原発を再稼働させない・核ゴミを持ち込ませない北海道連絡会

幹事 井上 敦子

地域連絡会報告

泊原発廃炉の会・そらち
裁判の結審と判決の説明会

2022年4月3日に総会と学習会を開催しました。総会を終えてから「泊原発廃炉訴訟」について菅澤弁護士さんから説明して頂きました。

北電を提訴してから11年目に裁判が結審して裁判の経緯を振り返ることが出来ました。

『5月31日の全面勝訴を祈っています。今後、いつでも第二の福島のような原発事故が起こる可能性が日に日に近づいているのが心配です。歴史に学ばない国はやがて滅亡する運命にあるのでしよう。そうならないように出来る事をしなければならぬ』とウクライナを見ながら感じています。

7月24日は、「泊原発裁判差止判決説明会」を「そらち」の主催で開催しました。三浦副会長が、5月31日の札幌市で行われた説明会を録音し、それを書面にして説明しました。13名の参加者でしたが、今まで疑問だったことが明らかになりました。参加者の感想を掲載しました。

『廃炉運動と弁護団の緻密な論理の組み立てでの差し止めは嬉しい、廃炉に至るにはいくつかのステップがあることが明白になった。差し止めを確定させるためには核のゴミの処分を運動の中心テーマにして欲しい。行き場のないゴミをこれ以上増やさないで欲しい。』

オミクロン株の感染状況を見て、『核ゴミ問題』の学習会を滝川市で開催する予定です。

幹事長
中川洋子



菅澤弁護士と参加者

泊原発の
廃炉をめざす
札幌北区の会

泊原発の廃炉をめざす札幌北区の会は、「ハイロ通信From北区」を2020年3月から発行し、9月で14号になります。この2年半は世界的にコロナウイルス感染が流行している時期であり、また、今年2月24日のロシアによるウクライナ侵攻への日々殺戮報道を目の当たりにして、孤立された人々の心の重みをさらに深く深化させられる状況にあります。北区の会が高齢者が多く、ほとんど会議も開かれていない状況にありますが、このような時期に「通信」発行が継続できていることに活動の意義を深めています。

ひとり一人が原発についての意見や思い、考えを発信して多くの人がとに伝えることの大切さを改めて痛感しています。みなさんから寄せられる原稿や励ましに勇気づけられてきました。読者からの協力や入会者も後を絶ちません。

特に福島被災者10人の手記をシリーズ「3・11から9・11年 福島の今を告発する」などで掲載してきました。福島原発事故を風化させない取り組みを続けていきます。

共同代表 富田素實江

釧路地域連絡会

毎週金曜夕刻恒例の釧路駅前行動では、国葬反対のアピールが賑やかな中でも、原子力に関する岸田内閣の方針案に強く抗議するマイクアピール・横断幕やカードを掲げてのスタンディングを続けています。

「原発運転期間延長、既設原発最大限活用、次世代革新炉の開発、建設などについて検討を加速するよう指示したことは、戦時下の原発が攻撃対象となる可能性を示されたいま、安全保障の観点でも真逆の判断だ、即刻、日本中の原子炉を廃炉にする」と決断すべきである」との指摘。

道連絡会から届いた核ゴミを受け入れない署名の幟旗、幌延の「核ゴミはいらない!」のアピール旗、スタンディングデモ用カードを持参して釧路地域でも署名の取り組み開始。

近く、世話人からどなたかを招き、裁判結果報告、廃炉の会の活動報告会に関する集会を持ち、釧路地域の原告、賛同者に説明する機会を持ちたい。(実施日：会場未定)



2022年9月9日釧路駅前でのアピール

世話人・釧路地域連絡会
共同代表 マシオン恵美香

十勝連絡会

前号に引き続き、十勝管内市町村を巡るスタンディング活動を報告します。6月18日広尾町、町議・町民も含めて14人参加。7月16日中札内村、村民も含めて17人参加。8月6日浦幌町、今年は仕事の関係で地元町民参加できませんでした。10人参加。8月20日新得町、「さよなら原発!新得会」と共催、20人参加。道新十勝版にも写真付きで報道されました。

9月3日音更町で、町議2人、町民も含めて25人参加。今年は、十勝管内1市18町村のうち、10町村で実施でき、今後7市町村で実施予定です。帯広から一番遠い所は、陸別町で98kmでした。活動に必要な携帯拡声器(約10万円)も多くの人のカンパで購入できました。

原告として廃炉裁判に参加し、判決が出た後「良い判決が出ましたね。ご苦労様でした。(体調の関係で)控訴審には参加できないが、会員は死ぬまで続けまう」と言っていて、先日亡くなった香川恒夫さん(芽室町)の思いも受け止めて、地道に活動を展開していきます。

十勝連絡会代表
中村廣治



9月3日音更町で25人が参加

事務局ニュース

8月31日、1審の判決が一部敗訴となったことを受けて控訴人となった方と北電が控訴したため被控訴人となった方へ、裁判当事者となっている旨のお知らせとお願いの文書を事務局員8人で発送しました。



まだ届いていない控訴人・被控訴人の方がいらっしゃいましたら、事務局までお知らせください。

▲控訴人、被控訴人あて文書発送作業

納付しました

控訴審については8月3日に控訴理由書を裁判所に提出しました。これに伴い訴状に貼る印紙代について、これまででもご説明してきましたが、9月6日裁判所あてに納付しました。

予算組みしている特別会計の中から捻出し、不足はありませんでしたので皆さまにお知らせいたします。

今後も控訴審の進行を見届けていただき、私たちの最終目標である泊原発の廃炉をめざして、応援・ご協力をお願いいたします。

上映会のお知らせ
原発事故 最悪のシナリオ

10月14日開催予定の第11回「映像資料に学ぶ原子力とキノコ雲」は、控訴理由の参考資料として裁判所に提出した書籍「原発事故 最悪のシナリオ」のDVD版を上映します。

参加希望者は連絡をお願いします。
(ヒロタニ 090-8370-4610)

チャリティー散歩

8月19日、通算第20回目のチャリティー散歩をささやかな人数で実施しました。午後2時北大クラーク会館集合。

中央ローンでくつろいでいる人達にハイロポケットティッシュを配ったあと大通り公園へ行き、ベンチなどにくつろいでいる人達にも配り、短い会話しながら泊ハイロを訴えました。

散歩の途中、道新ギャラリーで『楽しい写真教室第10回写真展』が開催中だったのを見学。そこで廃炉の会事務局・写真担当の及川さんの作

品を鑑賞。前年度の作品展で受講生人気投票、会場投票ともに第1位を獲得していることが判明！「さすが及川さんの作品だ」とひとしきり話をして退出しようとしたら、我々のハイロTシャツが受付けの人達の目に止まったらしく声を掛けられたので、すかさず「泊ハイロよろしく」とハイロカードを渡しました！



事務局 加藤 浩道

もっさりセンターで反省会

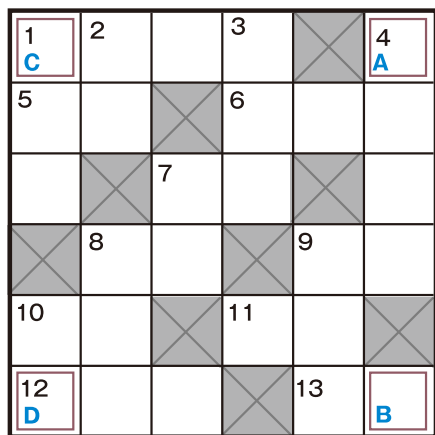
今回で寿都町民の会への募金の合計は累計で17,445円になりました。片岡寿都町長は今秋の住民投票に消極的な姿勢を見せはじめているようですが「核ゴミノー」の世論形成に少しでも前進になればと思っています。

第2回

お子さんお孫さんと一緒に考えよう！ 答えを送ろう！

HAIRO クロスワードパズル

「ヨコ」と「タテ」のカギを解き、日本で最初に原発のできた村の名前をA・B・C・Dの順にして答えてください。



答えは次回のニュースで

答え

A B C D

前回の答え…カ・ク・ゴ・ミ (核ごみ)

↓ タテのカギ

1. 新潟にある柏崎刈羽原発の「刈羽」の読み方
2. 「真の〇〇明は山を荒さず川を荒さず」と田中正造
3. この県の県庁所在地松江市から約10kmのところにある〇〇〇原発
4. 〇〇〇〇の旧経営陣に13兆円余の賠償命令の判決
7. セタに出会う〇〇姫と彦星
8. アンデス山脈中に栄えた〇〇〇帝国、スペインのピサロによって滅亡
9. 核ゴミの住民投票を渋り始めた片岡春雄〇〇〇町長
10. 水をかいて舟を進める道具

→ ヨコのカギ

1. 株を保有している人
5. 肥料の三要素。窒素、〇〇酸、カリウム
6. 〇〇〇使い、〇〇〇をかける
7. 山地の谷に対する語。稜線ともいう
8. 「日の出」の逆、「日の〇〇」
9. 日本昔ばなし「一〇〇法師」
10. 福島原発事故当時の首相〇〇直人
11. 打者に「〇〇飛ばせー」と声援を送る
12. 愛媛県佐多岬のつけ根、伊方町にある〇〇〇原発
13. 〇〇勤・〇〇学

応募方法

ハガキに解答(カタカナでもよい)と郵便番号・住所・氏名・連絡先を書いて、10月末必着でハイロの会クロスワードパズル係まで送ってください。

プレゼント

正解者にハイロポケットティッシュ5個(拡散用)を進呈します。問合せ先:090-6443-3195(加藤まで)

第1回

ハイロ山柳を募集
脱原発・核ゴミ・泊原発に闘うの
川柳を募集します

ハガキに川柳を書いてハイロの会川柳係まで
(一通に3句まで)住所・氏名 連絡先を
ご記入ください。
応募期間・随時
掲載・川柳係が選定。
名前は本名
またはペンネーム
作品例
いらぬいよ
寿都の歴史に
核のゴミ

問合せ先:090-6443-3195(加藤)